

地域医療支援病院業務報告要旨(公表用)

1. 概要

病院名	フリガナ	キンキダイガクナラビョウイン
		近畿大学奈良病院
所在地		奈良県生駒市乙田町1248番地1
管理者氏名		村木 正人
承認年月日		令和4年4月5日

2. 業務報告

対象期間 令和4年 4月 1日 ~ 令和5年 3月31日

◇紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

算定期間	令和4年 4月 1日 ~ 令和5年 3月31日	
承認要件	②紹介率65%以上、かつ逆紹介率40%以上	
紹介率	A/B	67.6%
※患者数は延べ人数	A: 紹介患者の数	10,628人
	B: 初診患者の数	15,721人
逆紹介率	C/B	60.9%
※患者数は延べ人数	C: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	9,576人

◇共同利用の実績

医療機関延べ数 (うち開設者と直接関係のない医療機関延べ数)	157件 (157件)
共同利用病床数	6床
共同利用病床利用率	0.0%
共同利用の範囲等	開放型病床、CT、MRI、R1、上部内視鏡、骨密度検査、講義室、図書室、研究室、中まと西和ネットによる診療情報の共有
登録医療機関数(同一医療圏内)	215

◇救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送用自動車により搬入した救急患者の数	2,414人 (1,373人)
上記以外の救急患者の数	1,450人 (348人)
合計	3,864人 (1,721人)
	※括弧内は、入院を要した患者数
救急用又は患者輸送用自動車	1台

◇地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

研修の内容	喘息診療UpToDate、甲状腺疾患の現状と対処方法、地域で取り組むがん診療、骨転移診療の現状と治療状況、地域から始まる胃癌の治療、慢性骨髄性白血病の治療について、在宅の中での特定行為看護師の役割って!?、ACPと近畿大学奈良病院での取り組み、コミュニケーションのこつ〜きげんよくぼちぼちいこう〜、白内障・緑内障・網膜剥離、当院における病診連携とCOPDの治療戦略、口から始まる地域の健康〜頸骨壊死の最近〜	
研修実施回数		12回
研修者数		369人
研修体制	研修プログラム	有
	研修委員会の設置	有
	研修指導者数	15人
研修施設	講堂、大会議室(2室)、小会議室(2室)	

◇診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法

管理責任者	病院長 村木 正人	
管理担当者	経営管理部 課長代理 吉田 和洋(診療情報管理士)	
診療に関する諸記録の保管場所	医療情報管理室(カルテ室)	
病院の管理及び運営に関する諸記録の保管場所	共同利用の実績	患者支援センター
	救急医療の提供の実績	患者支援センター
	地域医療従事者向け研修の実績	患者支援センター
	閲覧実績	医療情報管理室(カルテ室)
	紹介患者等の帳簿	患者支援センター

◇診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

閲覧責任者	病院長 村木 正人	
閲覧担当者	経営管理部 課長代理 吉田 和洋(診療情報管理士)	
閲覧に応じる場所	医療情報管理室(カルテ室)	
閲覧者別延べ件数	医師	0件
	歯科医師	0件
	地方公共団体	0件
	その他	0件
	合計	0件

◇第九条の十九第一項に規定する委員会の開催の実績

委員会の開催回数	4回
----------	----

◇患者相談の実績

相談を行う場所	相談窓口
主たる相談対応者	患者支援センター専任相談員(看護師・社会福祉士)
相談件数	1,586件
相談の概要	制度の利用、医療費などの経済的問題、退院後・療養中の生活不安、転院・施設、治療と仕事の両立、治療・看護・検査・薬、設備・職員の対応、医療安全、院内感染